

五分館だより

第36号

豊丘村公民館
第五分館
編集 社会部
印刷 龍共印刷(株)

堀越の今日

H12.3.1現在
戸数 91戸
人口 387人

「寿生会」創立40周年記念式典

中島夕鶴先生を招き記念講演同時開催

彼岸も過ぎ梅の花も咲き春のいぶきをひしひしと感ずる時期、三月二十五日寿生会の総会後創立四十周年記念式を多数の会員の皆さんの出席を戴き、来賓として吉川村長、区長、村老連吉川会長、老連吉川事務局歴代会長西元敏計氏、第五分館長堀本明一氏、皆さん共々公私共御多忙の中をご臨席賜り、且つ贈を添えて頂き有難く感謝申上ます。当日の記念講演には日中友好委員長の泰阜村出身の中島多鶴先生をお願い出来、七十五歳と言う年齢なれど自身で車の運転をされ、遠方の処お越し頂き「満蒙開拓より生還して」との題で講演を拝聴し、当時の苦難された様子等身の引しまる思いでした。

さて創立四十周年の歩みを記しますと、昭和三十六年伊那谷を襲った所謂三六災害の年、当時民生委員の松村鶴見氏と堀本許良の両氏が中心となり、公民館分館の役員分館長に武田彦左衛門先生、副に宮下音藏、役員として武田努、宮下正計、武田幸義各氏のご尽力により老人クラブが結成され、会の名称も一般委員の意見により堀越寿生会と決めた。

同年三月十二日、村中で一番早く初代会長に日下部兵八郎氏が選任され、入会者八十七名の中六十五名の出席で結成設立総会が開催され、次の様な事項が記されて居る。

「高齢者が希望と生がいの有る生活を送り地域社会の一員としての、より一層のふさわしい役割を果たす様色々と活動して参り度い。子供の時、若い時、中年、老年と夫々の時期に希望と楽しみを持って行くのが人生で有ります。人の寿命は計り知れないもので六十歳にてボケてしまふ人有り、八十歳、九十歳までもかくしゃくとして元気な人も居ます。お互の健康が基で日々の豊かな楽しみの気持ちで暮せば早くボケません。しかし年が重なるに随って自然と家を出る機会も少なくなり、社会での交流も遠ざかり淋しさを感じます。此の様な時こそ老人クラブは最も良い話し合いの場であり、研修の場であり、憩の場でも有ります。皆集って若い

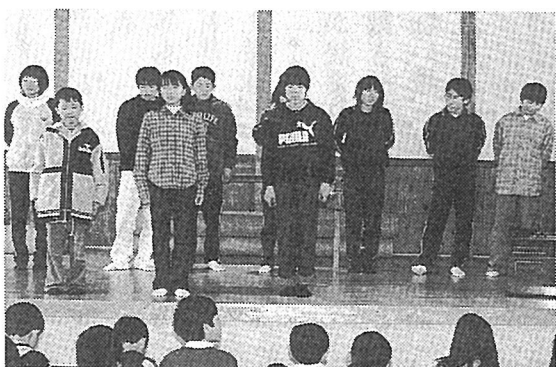
すばらしい地域性

堀越青少年育成会

時を語り、楽しくレクリエーションを行い手を取り合って楽しい旅行もしましょう。此の様に老人の歩む目標を示し、お互が活力を出し合って相互扶助に貢献された先輩の皆さんに敬意を表します。其後十五周年、二十五周年、三十周年と記念事業が行われ今日に至って居りますが、現在は殆どの方が入会して頂いて居りますが色々の事業、特に総会等に出席が少ないのが残念です。以前は健康と体育増進を目的にゲートボールも盛んに行われ、村の大会には五チームが毎度参加し注目の的でした。

時代の流れと云いましうか、是は全般的な傾向で愛好者も減り二チームになりましたが、最近又愛好者も少しずつ増えて来た傾向です。ので堀越でも体育増進の為参加を期待します。

四十周年を契機に先輩より受けついで環境整備に他世代との交流友愛訪問、楽しい一泊旅行等総て次代へ



武田篤子

花が咲き、沢山あった御馳走がいつの間にかなくなっていました。その後、みんなで協力して食事の片付けをし、今日の本題のお別れ会がはじまりました。父兄代表や在校生代表のお祝いの言葉のあと、育成会を代表して会長さんがそれぞれの卒業生へ記念品を渡ししました。卒業生もみんなの気持ちに答え、これからの目標や育成会での楽しかった事などを、ひと言ずつ発表してくれました。ビンゴゲームの後、片付けをして解散しました。

保育園から数えると二十二年間、上下あわせて二十三年の違う地域の人達と、活動を通して知りあえるという事は、子供達にとって何にもかえがたい貴重な経験であると思います。又、こういった活動ができる堀越の地域性もすばらしいと思います。役員の方々のお骨おりで、今年もまたこのような事業ができました事を感謝いたします。

寿生会会長

松下幸見

を送り度い所存でございますので、宜敷ご協力下さる事をお願いいたします。以前から此の堀越には有難いことにボケ老人がいらないといってもよいくらいです。今後成るべく多く話し合いの場を持ち、お互に親睦を図り、和気藹々のうちに幸な老後を暮らし度いと思ひます。

会員皆々様の健康を祈念します。

地元外への不法投棄目立つ！

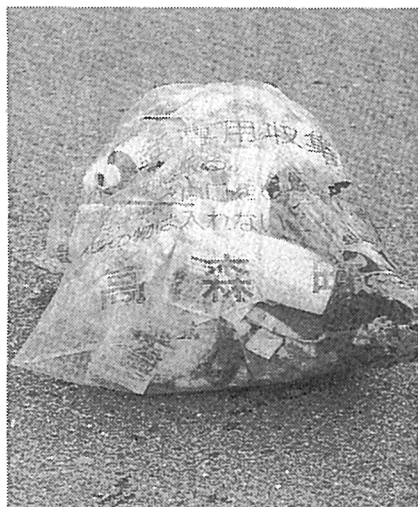
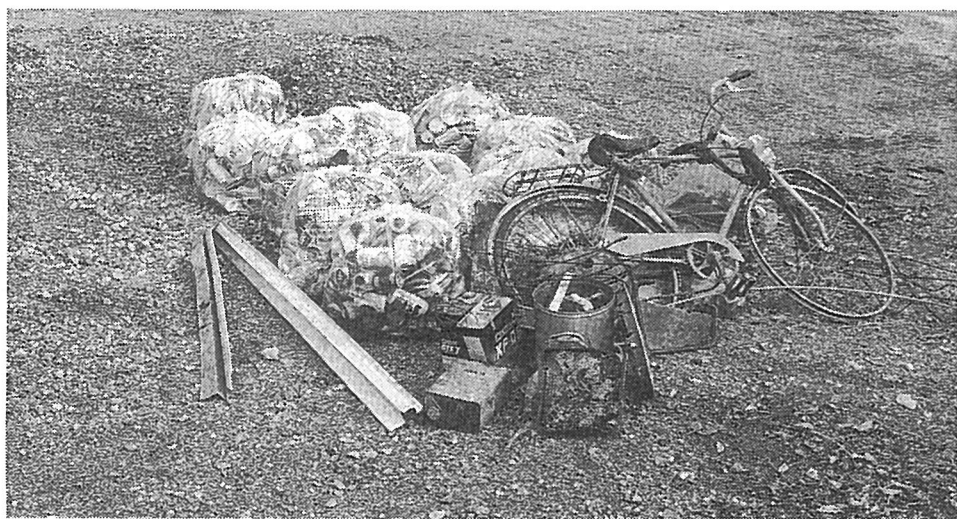
ゴミの処分については焼却による環境汚染、焼却灰や埋め立てゴミの最終処分場の問題等行政を巻き込んで社会的に大きな問題として取上げられるようになりました。豊丘村においてもゴミの分別収集がこの四月より本格的に実施されます。

一方堀越区内では、毎年のゴミゼロ運動はもちろんの事、第五分館のメンバーによる黒谷線の桜並木の下草刈りや区内各所に設けているゴミ缶（ドラムカン）の整備を実施している他、小中学生のお別れ会の日に奉仕活動として、区内主要道路沿いのゴミ拾いも行っています。

改めてゴミのポイ捨ての実態を実感した次第です。今年も三月五日に黒谷線・広域農道・胡桃沢線のゴミ拾いを実施しましたが、今年には意外な物が回収されました。一つは『高森町』の名前入りゴミ袋にいっぱい詰められたペットボトル・卵のパック等不燃物のゴミ。もう一つは『飯田市』の名前入りゴミ袋十数袋に及ぶ使用済み紙オムツの投棄で、これに至っては胡桃沢線札幌西側北西の谷に向って数袋の投げ込みと道路脇への放置といった悪質なもので、

想像するに谷に向って投棄中に車が来たので慌ててその場から逃げた!?ものと思われそうです。正に不法投棄です。その他にもタイヤの投棄、マルチの投棄、建設材料の投棄、自転車の投棄（これは回収しましたが）等ゴミの山状態でした。堀越に住む者としてこれらの事実をどう受け止め、今後どのように対応していけばよいのでしょうか、区の問題として皆で考えたいと思います。

社会部長 武田伸洋



豊丘村公民館 第五分館役員 (平成12・13年度 一期二年任期)

分館長 堀本 明 一
主事 宮下 茂 (会計)
河野 通 久 (庶務)

部落役員

米山 利之 (胡 芝)
西元 文美 (西 部)
宮下 正弘 (中 宮)
小椋 信洋 (中 宮)
武田 美保子 (上垣外)
三沢 学 (東)
久保田 政勝 (駒 沢)
分 館 (堂 平)

委嘱役員

松下 源 実
福島 昭 治
武田 伸 洋
越 野 信 義
宮 下 直 也
田 島 す み 子
田 島 妙 子
宮 下 千 代

運営審議委員

林 惇 司
三 沢 勝 義
松 村 幸 美
武 田 繁 美
堀 本 正 紀
小 椋 雄 一
松 村 雄 一

(本館審議委員)

平成十・十一年度公民館活動にご協力戴きまして大変ありがとうございました。
また、分館報の記事協力等もして戴き、本日まで発行できました事に厚くお礼申しあげますとともに、今後ともよろしくお願い致します。
平成十二・十三年度役員が決まりました。
左記の方々に協力をして戴き活動して行きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。
尚、詳細につきましては五月に分館報でお知らせいたします。